

平成 24 年度（2012）年度

# 事業計画書

自 平成 24（2012）年 4 月 1 日

至 平成 25（2013）年 3 月 31 日

公益財団法人岩手県国際交流協会

# 平成 24 (2012) 年度 公益財団法人岩手県国際交流協会事業計画

## I 基本方針

当協会は、平成 23 年度から公益財団法人に移行したことを機に、あらためて設立の目的と公益法人の役割と責務を自覚し、公益活動を担う県内の中核的な国際交流組織として、国際交流・協力・多文化共生の推進に係る事業を展開している。

特に平成 23 年度は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災に係る外国人県民等被災者や地域の国際交流団体への可能な支援活動も行ったところである。

東日本大震災により日本人県民のみならず外国人県民も被災したので、引き続き、外国人県民被災者の生活支援活動を行う必要があり、また、復興に向けて、日本人県民と外国人県民が力を合わせ、地域が一体となって取り組んでいかなければならない。

このため、平成 24 年度においては、

- ① 日本人県民と外国人県民が理解しあい地域社会の構成員として共に生きる地域社会を築いていく「多文化共生の地域づくり」、
- ② 本県が有する様々な価値や魅力を国内外に発信し、交流人口を増やすとともに、異なる文化との交流を通じて、本県の文化の再認識や地域課題の解決に向けた知恵の創造を図る「交流による地域づくり」、
- ③ これからの日本そして国際社会にとって、地域課題のみならず地球規模の課題について理解を深め、その解決に向けて活躍できる国際感覚豊かな人材を育成する「次代を担う人づくり」、
- ④ 東日本大震災の被災外国人等の生活の安定に向けて生活全般に関する様々な相談に対応するとともに、被災地の国際交流団体の活動を支援する「震災被災者の支援」、

これら 4 つを柱として、国際交流・協力・多文化共生の推進に係る事業に取り組んでいくこととする。

なお、各事業の実施に当たっては、岩手県の「いわて県民計画」、「岩手県多文化共生推進プラン」、「岩手県東日本大震災津波復興計画」において当協会に期待されている役割を踏まえながら、県内行政機関、民間国際交流団体等と緊密な連携の下、効果的に進めていくこととする。

## II 事業計画

### 1 多文化共生の地域づくり

#### (1) 情報提供

##### ① 多言語ホームページによる情報提供

協会ホームページにおいて、多言語により、在住外国人への生活情報、国際交流団体の活動情報等を迅速に発信する。

URL ; <http://iwate-ia.or.jp/>

言語 ; 英語、中国語、韓国語、日本語

##### ② 多言語モバイルサイトによる情報提供

多言語のモバイルサイトにおいて、イベント情報等を迅速に提供する。

URL ; <http://iwate-ia.or.jp/m>

言語 ; 英語、中国語、日本語

##### ③ 多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行

県内外の国際交流・協力・多文化共生のイベント情報や外国人への生活情報などを掲載した英語及び中国語版、日本語版の国際交流情報紙「jien go」を、隔月発行する。

発行部数 ; 英語・中国語版 2,500部/回、日本語版 3,500部/回

発行回数 ; 6回/年(隔月)

##### ④ 震災復興に関する情報提供

###### ア 多言語の震災復興関連情報の情報紙「jien go」臨時号の発行

震災復興関連の生活情報を掲載した英語及び中国語の情報紙「jien go」臨時号を発行する。

###### イ ラジオを活用した情報提供

ラジオを活用し、随時震災復興関連の生活情報を英語及び中国語で提供する。

#### (2) 日本語学習支援

##### ① 日本語サポーターの登録・育成と活用 **重点**

###### ア 日本語サポーターの登録・活用

在住外国人の抱える様々な日本語学習ニーズに対応するため、日本語サポーターを登録し、活用を図る。

目標登録者数 ; 180人

目標活用件数 ; 50件

###### イ 日本語教室開設研修会(県補助)

在住外国人に対する日本語学習機会の提供の拡大を図るため、市町村国際交流協会等との協働により、地域での日本語教室の新たな開設を目的とした研修会を開催する。

開催場所 ; 陸前高田市(予定)

研修期間 ; 未定

###### ウ 日本語サポーター実践者研修会(県補助)

日本語サポーターの研鑽を図るとともに、情報・意見交換のため、実践者研修会を開催する。

開催場所 ; 国際交流センター(予定)

研修回数 ; 2回(予定)

##### ② 日本語教室運営支援

地域の外国人住民を対象とした日本語学習支援を行う日本語教室を支援するため、経費の一

部を助成する。

助成額；助成対象経費の 2/3 上限 50,000 円

### (3) 外国人県民の生活支援

#### ① 外国人相談の実施 **重点**

##### ア 相談窓口の設置

在住外国人が安心して生活できるよう、日本語学習・医療・福祉・子育て等に関する事など、幅広い相談に対応するため、外国人相談窓口を設置する。

相談窓口設置場所；国際交流センター

相談対応時間；毎日（年末年始（12/29～1/3）・閉館日を除く。）9：00～21：30

対応言語；英語、中国語、スペイン語、韓国語、日本語

目標相談件数；400 件

##### イ 相談専門員の配置

中国語、韓国語での対応が可能な相談員等を配置し、人数が多い中国籍等の在住外国人からの相談に対応する。

外国人相談専門員；1 名（中国）

外国人相談補助員；3 名（中国 1、韓国 2）

##### ウ 外国人定期相談日

在住外国人が抱える在留資格・諸手続などの課題を解決するため、岩手県行政書士会との連携により定期的な相談日を設ける。

開催日；毎月第 3 水曜日 15：00～18：00

開催場所；国際交流センター

##### エ 地域巡回相談（県補助）

外国人相談専門員が地域の日本語教室等を巡回し、日本語教室に寄せられる相談への対応を行うことで地域の日本語教室を支援し、また、地域の在住外国人からの相談への対応や情報提供を行う。

予定訪問件数；12 ヶ所

##### オ 震災復興関連の相談対応

震災に関する相談、またそれに付随した相談に対応するため、相談窓口を設置するとともに、被災地を中心に地域巡回相談を実施する。

#### ② 多言語サポーターの登録・育成と活用 **重点**

##### ア 多言語サポーターの登録・活用

在住外国人が安心して生活できるよう、災害時又は医療受診時における通訳等の支援、学校における外国人児童生徒等に対する通訳等や生活上の諸手続に関する通訳等の支援を行うため、多言語サポーターを登録し、活用を図る。

目標登録者数；180 人

目標活用件数；75 件

##### イ 多言語サポーター研修会（県補助）

多言語サポーターの活動に必要な知識の習得や技術、能力の向上を図るため、研修会を開催する。

##### (7) 在住外国人向け通訳研修

通訳や支援ができる在住外国人の人材が不足していることや、日本での自らの経験を踏まえたアドバイスを行うなど相互扶助活動ができる人材の育成を図り、在住外国人ネットワークの形成を支援するため、在住外国人を対象とした通訳者養成研修を開催する。

開催場所；国際交流センター（予定）

研修回数；5回（予定）

#### (イ) 分野別通訳研修

登録者の拡充やブラッシュアップを図るため、医療受診時における通訳等の支援や学校における外国人児童生徒等に対する通訳等、分野別の専門研修をそれぞれ開催する。

開催場所；国際交流センター（予定）

研修回数；2回（予定）

### ③ 私費外国人留学生支援

#### ア 奨学金支給（県補助）

私費外国人留学生の経済的負担の軽減を図るため、奨学金を支給するとともに、「いわて留学生大使」に委嘱し、県内で行われる国際交流活動又は県内就職支援への取組みに積極的に参加してもらう。

支給期間；平成24年4月～平成25年3月

支給人数；10人

奨学金額；40,000円／月

#### イ 県内就職支援

行政、大学等関係機関と連携するとともに、個別に相談があった際には、関係機関への仲介などを通じて、外国人留学生の県内就職を支援する。

連携機関；岩手県外国人留学生就職支援協議会（事務局 岩手大学国際交流センター）

#### ウ ネットワーク構築

帰国した留学生大使等のその後の状況をホームページなどで紹介するなど、留学生を通じた世界と岩手をつなぐネットワーク構築を図る。

## (4) 講座・研修

### ① いわてグローバル・カレッジの開催 **重点**

グローバルな視点から岩手の国際化・多文化共生について理解を深めるとともに、岩手における今後の国際交流・協力・多文化共生について考える契機とし、県民や関係機関等が一体となって国際交流・協力・多文化共生を進めていくようにするため、県民等を対象としたセミナーを開催する。

開催場所；国際交流センター（予定）

開催回数；8回シリーズ

### ② 国際理解ワークショップの開催

国際理解を推進するため、県内の学校等からの依頼に応じて、H23年度に作成した「国際理解ハンドブック」（Part2）を活用した国際理解ワークショップの開催や、国際理解プログラムの提供等を行う。

## (5) 調査研究

### ① 国際理解ハンドブックの作成

ベルリンオリンピックのマラソンの金メダル選手の孫基禎をテーマにした教材を「国際理解ハンドブック」（Part3）として作成し、国際理解の推進に活用する。

## 2 交流による地域づくり

### (1) 情報の収集・提供

#### ① 国際交流・協力・多文化共生に関する図書・情報の収集・提供

ア 国内外の国際交流・協力・多文化共生に関する図書や資料・教材を収集し、提供する。

イ 県内各地域で実施されている国際交流・協力・多文化共生事業や県内外における国際交流・協力・多文化共生に関連する外国人を含めた人材等に関する情報を収集し、活用する。

ウ 県内在住の留学生など在住外国人の協力を得ながら、また、各国大使館や政府観光局などを通じて国別、地域別の情報や資料を収集し、提供する。

#### ② 多言語ホームページによる情報提供【再掲】

#### ③ 多言語モバイルサイトによる情報提供【再掲】

#### ④ メーリングリスト「いわてプラネット」の運営

メーリングリスト「いわてプラネット」[i-planet@freeml.com](mailto:i-planet@freeml.com)を運営し、県内外で行われる国際交流・協力・多文化共生活動などの情報・意見の交換の場として提供する。

#### ⑤ 多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行 【再掲】

ア 多言語の国際交流情報紙「jien go」の発行【再掲】

イ メールマガジンの発信

メールアドレス登録者には、メールマガジンとして、メールで、上記情報紙の内容を提供する。

#### ⑥ 機関誌「いわて国際交流」の発行

外国人も含め県民が一体となって国際交流による地域づくりについて考えることをテーマに機関誌「いわて国際交流」を発行する。

発行部数；4,000部／回

発行回数；2回／年

### (2) 国際交流の推進

#### ① 国際交流センターの運営推進（県委託） **重点**

県から委託を受けて、国際交流等の情報提供、在住外国人に対する生活支援、県民と外国人との交流等の拠点施設である国際交流センターの運営を推進するため、スタッフ及び国際交流補助員等を配置し、センター利用者への助言や支援、情報収集・提供、在住外国人の相談への対応や、国際理解のための事業などを推進する。

開館日及び時間；毎日（年末年始（12/29～1/3）・閉館日を除く）9：00～21：30

スタッフ；6名（英語、中国語対応）

外国人相談専門員；1名（中国語）

国際交流補助員；2名（英語・スペイン語対応）

#### ② センター運営サポーターの登録・活用

センター運営サポーターを募集登録し、国際交流センターの運営や協会事業のサポートなどに活用する。

目標登録者数；30人

#### ③ 外国人との交流会「ちゃっとランド」の開催

広く県民に外国人との交流の場を設け、文化紹介、スポーツ、季節の行事や、震災復興後のまちづくりなどをテーマに、在住外国人等をゲストスピーカーとして開催する。

開催場所；国際交流センター（予定）

開催回数；毎月1回

④ 「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の開催 **重点**

国際交流・協力・多文化共生の啓発普及を図るため、外国人や関係団体等と連携・協働して、「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」を開催する。

開催場所；国際交流センター及び県内2地域（予定）

事業内容；「フェアトレードコミュニティ in いわて」、国際理解ワークショップ、外国人による文化紹介、国際交流団体等の活動紹介、姉妹都市交流の紹介、クリスマスカードの展示及び書き方、交流会など。

⑤ 「フェアトレードコミュニティ in いわて」の実施

市町村国際交協会や県内飲食店、フェアトレード団体と連携し、フェスタなどフェアトレードのイベントを通じて国際協力の意識啓発を図る。

⑥ ワン・ワールドで踊ろう「さんさ踊り」への参加

「ワン・ワールド・フェスタ in いわて」の一環として、在住外国人が岩手の伝統芸能への理解を深め、より多くの県民との交流を図るため、在住外国人、国際交流団体や賛助会員等と連携・協働し、「盛岡さんさ踊り」に参加する。

実施時期；8月上旬

⑦ 外国文化紹介講師派遣（県補助）

地域住民の外国文化に対する理解の促進を図るため、県内で開催される外国文化理解に関する行事等に、国際交流員、海外研修員や「いわて留学生大使」等を講師として派遣する。

目標派遣件数；6市町村（平成21年度からの累計 22市町村）

⑧ ホストファミリーの登録・活用

ホームステイの受入れにより外国人との交流を深めるため、ホストファミリーを登録し、各市町村協会や団体と連携し、活動の機会を提供する。

⑨ いわて国際化人材の登録・活用

岩手の国際化を推進するため、多様な分野の人材を登録し、国際理解講座や料理講座、通訳・翻訳、日本語学習などに登録者を紹介する。

⑩ 国際交流団体等への活動支援

県内の国際交流団体等が行う県民参加型の国際交流・協力・多文化共生の活動が活発に行われるようにするため、経費の一部を助成する。

助成額；助成対象経費の1/2 上限100,000円

(3) 国際理解の推進

① 企画展示

日中国交正常化40周年記念、ロンドンオリンピック、「大草原の小さな家」刊行60周年記念、ドイツ環境保全をテーマに、展示などを行い、岩手と世界とのつながりや環境について県民の理解を深める機会とする。

これ以外にも年間を通じて、様々なテーマでの展示を行なう。

開催場所；国際交流センター等

開催テーマ：日中国交正常化40周年、ロンドンオリンピック、「大草原の小さな家」刊行60周年記念、ドイツ環境保全 他

その他：他団体との連携で実施

(4) 国際交流団体等との連携

① 国際交流関係団体連絡会議の開催

国際交流・協力・多文化共生に関わっている団体相互の連絡調整及び情報交換等を行うとともに被災した外国人支援活動について協議する。

開催場所；国際交流センター及び地域（予定）

開催時期；国際交流センター 1月（予定）、地域 随時

## ② 国際交流関係団体等との共催事業の実施

国際交流関係団体等が行う国際交流、国際協力、多文化共生の事業に対し、共催や後援等により支援する。

共催予定：在住外国人児童生徒の学習支援「いわて多文化子どものキャンプ」、

日独ユースサミットほか

## (5) 調査研究

### ① 「災害時における国際交流の意義」に関する調査研究

平成23年度に引き続き、県内大学研究者と共同で、「災害時における国際交流の意義」に関する調査研究を行う。

## 3 次代を担う人づくり

### (1) 講座・研修

#### ① 海外体験・留学セミナー「いわて青年国際塾」 **拡充**

国際社会で活躍できる次世代の人材を育成するため、海外への留学、スタディツアー参加等を希望する県内在住の高校生、大学生などを対象に、留学などに必要な情報、知識の習得や能力の向上、外国人とのふれあいなどを内容とした研修会を開催し、海外への留学等を支援する。

開催場所；国際交流センター（予定）

開催回数；5回

#### ② インターンシップ・プログラム

本協会の活動や国際交流・協力・多文化共生への理解を深め、就職意識の醸成にも資するため、県内在住の大学生、高校生などを対象とするインターンシップ・プログラムを実施する。

#### ③ いわてグローバル・カレッジの開催 **【再掲】 重点**

#### ④ 国際理解ワークショップの開催 **【再掲】**

#### ⑤ 地域国際化リーダー研修会の開催（県補助）

地域国際化リーダーを育成するため、国際交流関係団体の職員等を対象とした研修会を開催する。

開催場所；国際交流センター（予定）

開催時期；1月

### (2) 海外研修員等の受入れ

#### ① 海外研修員等のサポート（県委託）

県の委託を受けて、県が海外から受け入れる海外自治体職員研修員及び県費留学生、海外技術研修員の研修等がスムーズに行われるよう、研修機関との連絡調整や、岩手における生活を充実して過ごし、本県の良き理解者・支援者となるようサポートする。

### (3) 調査研究

#### ① 国際理解ハンドブックの作成 **【再掲】**

## 4 震災被災者の支援

### (1) 情報提供 【再掲】

- ① 多言語の震災復興関連情報の情報紙「jien go」（臨時号）の発行
- ② ラジオを活用した情報提供

### (2) 外国人相談の実施 【再掲】 **重点**

- ① 震災復興関連の相談対応

### (3) 調査研究

- ① 災害時対応に関わる調査研究 （CLAIR 助成予定） **新規**

平成 23 年度に実施した災害時対応に関わる調査研究をもとに、「東日本大震災の多言語版記録集」を作成し、在住外国人へのオリエンテーションを実施する。

### (4) 体制支援

- ① 震災地域団体支援 **重点**

震災の影響で外国人支援を実施することが困難な状況にある市町村や市町村協会に対して、外国人支援が円滑に実施できるよう、被災地外国人相談員の設置などにより支援する。

### (5) 啓発普及

- ① 「東日本大震災 被災地 3 県国際交流協会が振り返るシンポジウム」の開催

（CLAIR 助成予定） **新規**

岩手・宮城・福島県国際交流協会が連携し、震災復興における外国人支援の状況や課題などをテーマとしたシンポジウムを実施する。